

平成 19 年度 事業実績報告（宮崎障害者雇用支援センター関係）

事業区分	事業名	実施状況
I 障がい者雇用支援事業	1 職業準備訓練の実施	<p>職業生活の自立に必要な基本作業と社会生活習慣の訓練を実施。</p> <p>訓練生個々に応じたカリキュラムを作成し、計画的な訓練を実施</p> <p>朝礼、終礼時に日課の意識化を図り、職場での実態に応じた日課の導入を行った。</p> <p>週単位での単一作業の継続等により持続性のある作業態度の養成に努めた。</p> <p>職場実習直前に、事業所から求められるスピード等を意識した訓練を実施。</p> <p>一般就労に必要なスキルを身につけることを目的として、事前アンケートを導入したフリートーキングを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力づくり ・生活習慣チェック ・滑舌練習など <p>体力増進及び健康管理を徹底して実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランニング・ラジオ体操・ダンベル体操の実施 ・健脚訓練（約 20 km） ・一般就労に見合った体力養成を図るため、終日立位作業を実施 ・屋外作業（園芸）を週 1 回実施 ・主体的な健康管理促進のため、体重・体脂肪率測定 の導入（体脂肪率が著しく高い者に対しては、セルフチェックシートにより、食生活と運動量の両面から継続指導した結果、1 年間で 10kg 減量を達成） ・事務処理事業（ゴム印押し、シュレッダー作業） ・ピッキング作業 ・花壇整備作業 ・コンベア作業 ・箱折り作業の週間目標数設定 <p>就労意欲向上のため、職場見学先事業所を開拓し、訓練生全員を対象に実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リネン工場 ・自動車部品工場

事業区分	事業名	実施状況
		職場実習先事業所を積極的に開拓。 ・開拓件数 14 件 ・実習件数 4 件 訓練生の確保（新規入所者数 14 名） ・「見学・体験コース」を設け 136 名を受け入れ、内 6 名が入所 ・関係機関に対する広報活動の実施 ・関係機関との会議に 21 回出席し、入所可能者の情報収集を実施
	2 障がい者相談・支援業務	センター訓練生、修了生、来所者の支援・進路相談を実施。 関係機関との連携を深めるため、各機関の行事に参加 関係機関との連携のための諸会議に出席 ・拡大ケース会議 4 回 ・就労支援担当者会議 4 回 ・コーディネーター会議 8 回 訓練生・保護者との面談を実施し、進路相談及び家庭における問題等について相談支援を実施 44 回 就職後の悩み等の相談についても随時対応するほか継続的支援のために、障害者総合サポートセンターの生活・就労支援・余暇支援の活用を促した。
	3 事業主への支援業務	事業所訪問時に、事業主に障がい者の雇用に関する支援及び助言を実施。 各種助成金や新規施策の情報提供 ・トライアル雇用等の支援策 実習先事業所との連携 ・実習期間中、週 1 回以上指導員が訪問、事業主や現場スタッフからの相談に即応し、就職につなげた。 5 件 就職後の定着指導の実施 ・就職後、作業遂行力に不安を感じる者、メンタル面の課題を持つ者に対しては、定着支援を実施。 ・就職後、課題の見あたらない者に対しては、就労支援への移行を実施。
事務管理事業	1 業務運営管理	入所者の健康管理等を行うため、非常勤嘱託医による問診を 2 ヶ月に 1 回実施。 業務連絡推進会議を開催し、関係機関に対しセンターの実績報告、及び事業運営効果を図るための理解と協力を求

事業区分	事業名	実施状況
		<p>めた。</p> <p>実施日 平成 19 年 5 月 25 日</p> <p>場 所 センター研修室</p> <p>参加者 20 名</p> <hr/> <p>機関誌「宮崎障害者雇用支援センター通信」を発行</p> <p>配布部数 237 部</p> <hr/> <p>職員の資質向上のための各種講習等を受講</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任所長・指導員研修 ・S S T 定例研修会 ・メンタルヘルス講座 ・S S T ファーストレベル研修